

< 機械・農作業の共同化を実施している事例 >

## 持続的生産活動を通じた多面的集落機能の維持

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>もんべつぐんにしおこつべむら</small> 紋別郡西興部村 <small>にしおこつべ</small> 西興部			
協定面積 1,129ha	田	畑	草地(100%) 牧草	採草放牧地
交付金額 1,693万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	集落の管理体制に係る経費		6%
		農業生産活動等		2%
		農業生産活動等の体制整備		39%
	その他(協定活動維持等)		3%	
協定参加者	農業者 16 人、生産組織 6 組合			

### 2. 取組に至る経緯

当集落は、それまで別個に取組を行ってきた上興部集落と藻興部集落が、全村を対象としたより効果のある取組活動とするため、平成17年に1つとなった集落である。

当集落では、担い手の高齢化や後継者不足が課題となっており、耕作放棄地の発生が懸念されている。また、離農跡地等に点在する廃屋や廃車が農作業の妨げになるとともに、農村景観を損っており、これらの課題解決のため全村を挙げて取り組むこととした。

### 3. 取組の内容

#### 農業機械及び作業の共同化

効率的な農業生産活動を推進するため収穫機械などの農業機械を購入し、収穫や播種などを共同作業により実施

#### 農道・作業道の補修

融雪や降雨等により損壊した農道・作業道の補修を共同作業により実施

#### 農村景観の整備

農村景観の整備を図るため、離農等により廃屋となった家屋や廃車の撤去を実施

#### 鳥獣害防止の取組

エゾシカの食害により牧草地が裸地となる被害が出ていることから、村の猟友会に委託し、有害駆除を実施



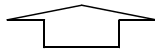
農作業の共同化（牧草の収穫作業）



農道補修の共同作業

[ 集落の将来像 ]

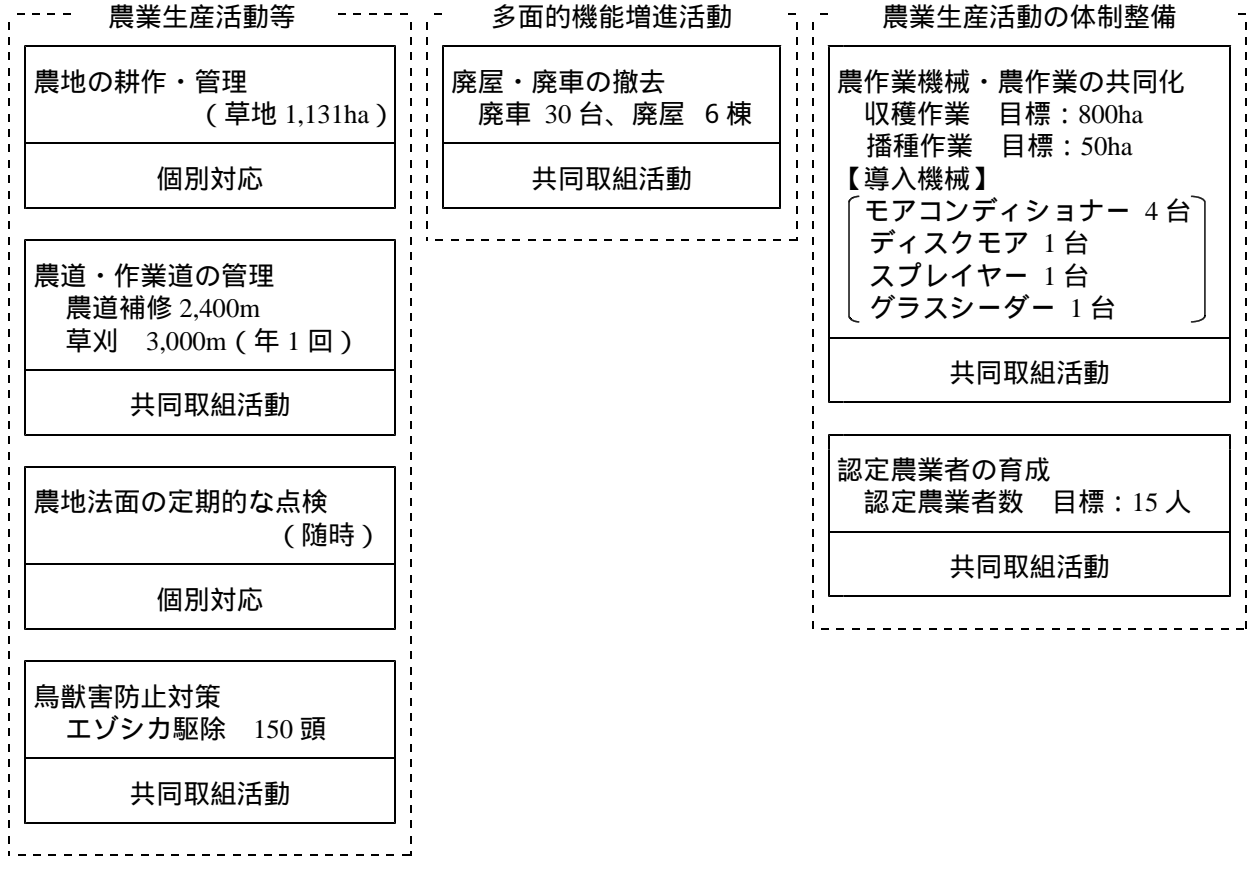
担い手の確保、明確化を図り、耕作放棄地の発生を防止する。  
 高齢化が進展していることから、労働力の軽減、経営コスト削減の観点から、農作業機械の共同利用を推進し、継続的な農業経営を展開する。  
 離農跡地等に点在する廃屋や廃車を撤去し、農作業の効率化を図るとともに農村景観の整備を図る。



[ 将来像を実現するための活動目標 ]

認定農業者の育成 (目標 : 1人増)  
 農業機械・農作業の共同化 (収穫作業 目標 : 800ha、播種作業 目標 : 50ha)

[ 活動内容 ]



4. 取組による変化と今後の課題等

集落で農業機械や農作業の共同化が進んでいる中で、協定参加者のほとんどが構成員となって家畜飼料の製造・調整を行う会社を設立するなど、農作業の共同化に向けた取組の進展がみられる。

今後、担い手の育成・確保が課題となっており、一層の取組が必要である。

[ 平成20年度までの主な成果 ]

認定農業者の育成  
 ・【当初 (H17年) : 14人、目標 (H21年) : 15人】 H20年現在 : 15人  
 農作業の共同化  
 ・ 収穫作業【当初 (H17) : 682ha、目標 (H21) : 800ha】 H19実績 : 994ha  
 ・ 播種作業【当初 (H17) : 0ha、目標 (H21) : 50ha】 H19実績 : 11.7ha